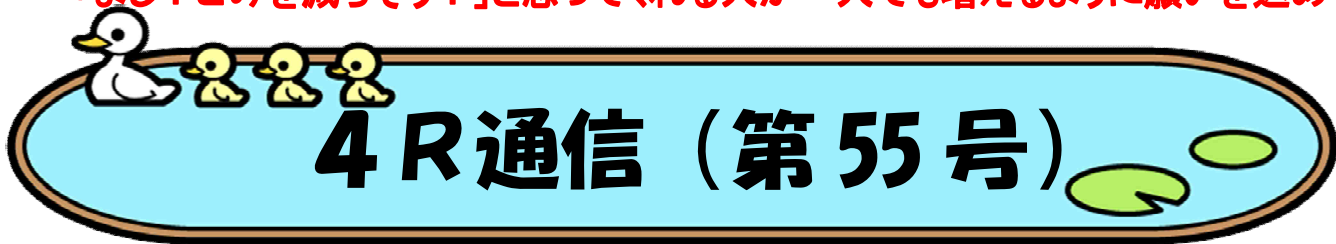


～「よし！ごみを減らそう！」と思ってくれる人が一人でも増えるように願いを込めて～

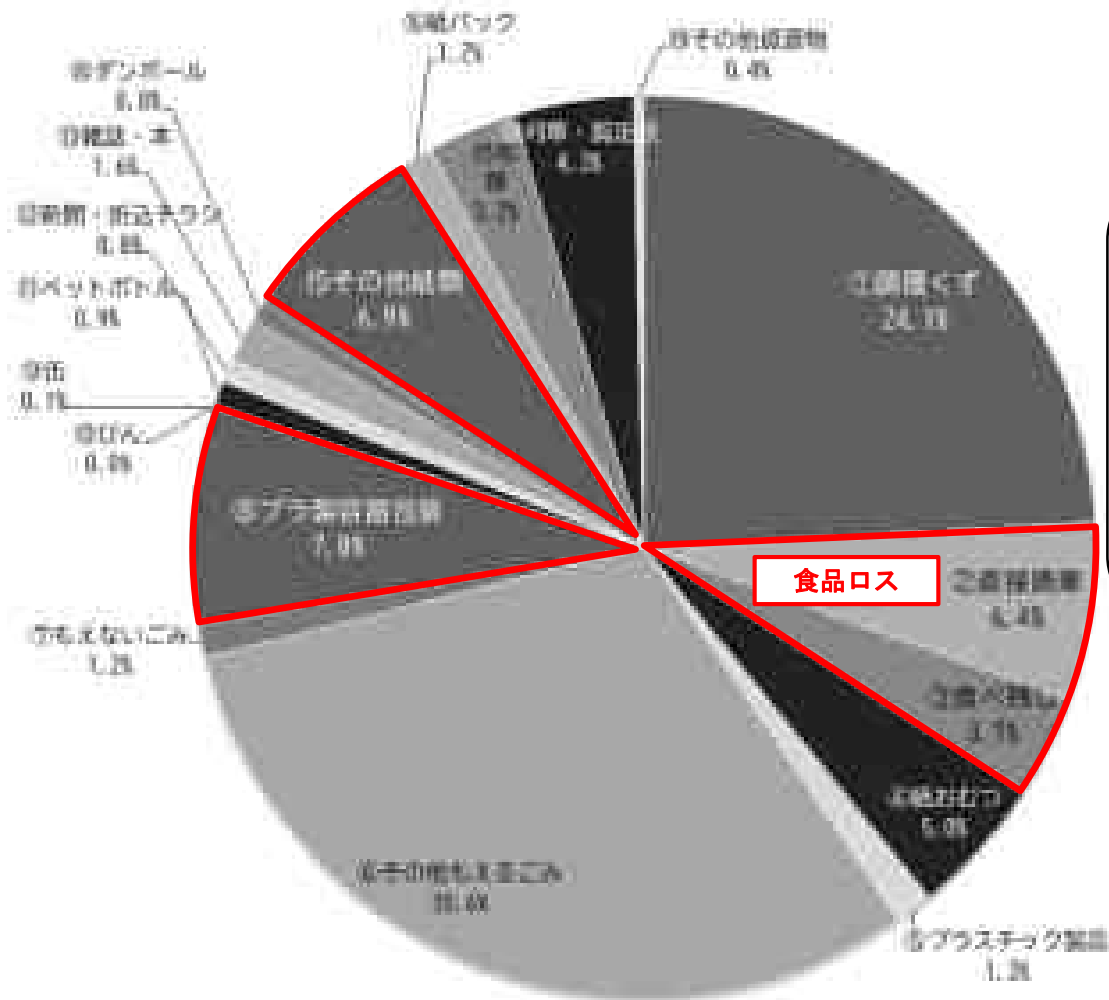


4R通信 (第55号)

断わる 減らす 繰り返し使う 資源化する
 『リフューズ♪リデュース♪リユース♪リサイクル』

常滑市の家庭ごみの中身を調査しました！

令和4年1月にもえるごみを構成する種類とその割合を調査する「組成調査」を行いました。組成調査の結果、まだ食べられる物(食品ロス)や資源物がたくさん入っていました。今後ごみの減量化・資源化にご協力をお願いします！



ピンク色の指定ごみ袋の中には、食品ロスが10.1%、プラスチック製容器包装が7.8%、その他紙類が6.9%も含まれておりました。



「4R とこなめ チャレンジ500」気が付けば わたしが主役 ごみ減量
 常滑市では、1人1日当たりの家庭ごみ排出量500gを目標としています。

【お問い合わせ】生活環境課 0569-47-6115



これがごみ袋 180 袋の中から出てきた手つかずの食品です！

「組成調査」を行ったときにごみ袋から出てきた手つかずの食品です。果物、野菜、パン、卵など様々なものが全く食べられず、そのまま捨てられておりました。

日本では食品ロスが、年間 570 万トンも発生しております。そのうち、261 万トンが家庭から出ております。常滑市の家庭ごみの中にも 10.1% 食品ロスが含まれていました。これは、常滑市の家庭から年間 1,070 トン食品ロスが出ていることとなります。1人1人が意識して、食品ロスの削減を行えば、常滑市全体のごみ量の削減にもつながります。今後も、ご家庭で食品ロスの削減にご協力をお願いします。

